



子育てLabo

今月のトピック

父母の離婚後の養育に関するルールが改正されました

この法律は、子の養育に関する父母の責務を明確化するとともに、親権、看護、養育費、親子交流、養子縁組、財産分与に関するルールが見直されており、令和8年4月1日に施行されます。

今回の改正後のポイントは以下の通りです。

親の責務に関するルールの明確化

真剣に関するルールの見直し

養育費の支払い確保に向けた見直し

安心・安全な親子交流に向けた見直し

財産分与に関するルールの見直し

養子縁組に関するルールの見直し

●法務省ウェブサイト
「民法等の一部を改正する法律について」

●熊本県ひとり親サポートブックについて

●こども家庭庁
「ひとり親家庭のためのポータルサイト」

○詳細はポータルサイトやパンフレット、動画等で詳しく説明していますのでご覧ください。

「バリアフリー」は、すべての人が社会に参加できるよう、すべての分野のあらゆるバリア（障壁）をなくすことです。社会の中には、年齢や性別、国籍、価値観や能力もさまざまな人が暮らしています。多様な人がいるにもかかわらず、多数を占める人に合わせず、少数を占める人に合わせて社会がつくられてきました。内閣府の2025年の情報によると、日本で身体障害、知的障害、精神障害を有している人の割合は、総人口の9.2%です。多数を占める障がいのない人が気づかないところで、障がいのある人は多くの不便さや困難を感じながら暮らしています。社会の中には、物理的なバリアや

心のバリアフリー

意識上のバリアなどがあります。この意識上のバリアをなくすために大切なのが、一人ひとりの「心のバリアフリー」です。心のバリアフリーとは、バリアを感じている人の身になって考え、行動を起こすことです。もし、店の前の段差で車いすの人が困っていたら、「私が〇〇しましょうか？」などと声をかけてみましょう。手伝おうと思っても断られることもあるかもしれませんが、自分でやりたい人や自分でする人もいますので、相手の気持ちを尊重しましょう。私たちが心のバリアフリーを実践して、誰もが暮らしやすい社会をつくっていきましょう。



こども家庭センター ☎0965-62-3456

町民文芸

投稿先 〒869-4814 氷川町島地642番地 企画財政課宛（毎月5日必着）

短歌

ぶくぶくと煮物の出汁程よく染みる
美味しく食べる我の味
西野津 古崎 栄子

学童と昔の道具その暮らし
学べば楽しい町資料館
西野津 古崎 スエノ

九才と九十才が集い寄り
昔問答歴史資料館
上鹿島 三枝 恵

俳句

梅咲いて庭中香る春きざし
西野津 古崎 栄子

沖繩の友にぎやかに春来たる
西野津 古崎 スエノ

川底をグンブ行きかい梅雨近し
西上宮 山下 環

ふるさとを語る中三春浅し
上鹿島 三枝 恵



八火図書館だより

☎0965-62-3489

4月23日(金)から5月12日(木)までは「こどもの読書週間」です。68回目となる今年の標語は「ことばがきみのはねになる」です。この週間は、大人が子どもに本を手わたす週間ともいわれます。この機会に、多くの子どもたちが本を手にとって心が動く体験ができることを願っています。

新着図書紹介

■一般書

- 少年とハリス / 稲葉 稔
- 春かずら / 澤田 瞳子
- 生きとるわ / 又吉 直樹
- 80歳の壁を超えた人たち / 和田 秀樹
- 児童書
- あの、ここどうぞ。 / くすのき しげのり
- しゅんしゅんぶたくん / 昼田 弥子
- となりのせきのおともだち / はしもと えつよ
- ハグのうた / おーなり 由子

おすすめ図書

熟柿 / 佐藤 正午
轢き逃げ事件を起こし、服役中に子どもを産んだ女性・かおりが主人公。子どもを思いながらも離れて暮らすかおりの、日々の葛藤を描いています。母が息子を思う気持ちにあふれた小説。

お知らせ

【2026年本屋大賞ノミネート10作品】

- ◆ 暁星 / 湊 かなえ
- ◆ ありか / 瀬尾 まいこ
- ◆ イン・ザ・メガチャーチ / 朝井 リョウ
- ◆ 失われた貌 / 櫻田 智也
- ◆ エピクロスの処方箋 / 夏川 草介
- ◆ 殺し屋の営業術 / 野宮 有
- ◆ さよならジャパウォック / 伊坂 幸太郎
- ◆ 熟柿 / 佐藤 正午
- ◆ 探偵小石は恋しない / 森 バジル
- ◆ PRIZE—プライズ— / 村山 由佳

本屋大賞発表の4月9日(金)までが、待ち遠しいですね！

